

背景・目的

本学音楽科は少人数制であり、かつ専攻領域も多くはないが、各器楽専攻や声楽、合唱など、組み合わせの可能性を広げることによって、音楽科の全学生に幅の広い、豊富な音楽体験を提供することがこの実践研究の目的である。

実施内容

毎年定期的に行っている「音楽科コンサート」、「オーケストラ・ドゥ・シャンブルコンサート」では、オーケストラ、そして独奏・独唱、合唱とオーケストラとの共演を中心としたプログラムを編成し、他の学内外でのコンサートなどで二重唱、二台ピアノなどの学生によるアンサンブル作品の演奏が行われている。他の学内での演奏の機会は、「木曜・火曜コンサート」、また「オープンキャンパス」のプレゼンテーション、学外では石巻市遊学館との提携コンサートなどがあり、それぞれが学生にとって貴重な演奏の場である。以下、主な実施内容を記載する。

① オープンキャンパス

オープンキャンパスにおけるアンサンブル関係の演奏は、二重唱、フルート合奏、作曲法で書いた女声合唱曲などである。夏のオープンキャンパスではそれらに加えて、オーケストラでのミニコンサートも行われた。

② 10月26日(日) 音楽科コンサート2014

宮城学院女子大学講堂において開催。今年度は、特にオーケストラとの共演曲目のレパートリーが広がっている。ペルゴレージの「スタバート・マーテル」では合唱と、その他、ヴァイオリン、フルートとの協奏的作品、ピアノ協奏曲など多彩なプログラムを提供出来た。



③ 2月8日(日) 第7回 オーケストラ・ドゥ・シャンブルコンサート

音楽科のオーケストラのために書かれた小山和彦の作品3曲、その中には下の写真のように、ピアノ連弾との協奏的作品もある。このコンサートの最後に、ハイドンのシンフォニア No.31 “Hornsignal” が演奏された。



結果及び考察

2014年度は、前年度を踏まえてさらにアンサンブルの可能性が広まってきており、学生も演奏そのものだけでなく、ステージでの所作などがだいぶ慣れてきている。

全体的にはレパートリーのさらなる拡大が望まれる。今後はより多くの作品に意欲的に取り組む必要もあるだろう。